

平成24年度第3回おきなわ脳卒中地域連携委員会総会 議事録

日 時：平成25年1月24日（木）19：00～21：30

場 所：ロワジールホテル&スパタワー那覇

参加者：173名（医師30名、看護師37名、リハスタッフ46名
MSW39名、その他21名）

1. 全体総会

(1) 挨拶

おきなわ脳卒中地域連携委員会委員長より挨拶が行われた。

(2) 特別講演

初台リハビリテーション病院理事長の石川誠先生より「脳卒中のリハビリテーションの流れ（急性期～回復期～生活期）」と題し、1）社会保障と税の一体改革、2）地域医療連携と地域包括ケア体制、3）リハビリテーション医療、4）医療保険におけるリハ医療の現状と課題、5）介護保険におけるリハ医療の現状と課題について講演が行なわれた。

（詳細は当日配布資料を参照）

2. 異職種交流会（懇親会）

平成24年度第2回おきなわ脳卒中地域連携委員会幹事会・総会では、職種間を越える情報共有を目的とした、特別講演会後の参加医療機関による交流の場を設けることとしていた。

本年度は、維持期施設が加わったことや、以前より看護部会から職種間での意見交換が滞っているとの指摘を受け、改めて委員会のあり方について検討し、模索した年であった。

委員会のマンネリ化の打開策のひとつとして、これまでの職種間での意見交換ではなく、本連携に係わる医師、看護師、リハビリ、MSWの職種間を越えた交流を行い、情報共有の裾野を広げることがあげられた。

今回総会では、特別講師の石川先生に脳卒中のリハビリテーションについてご講演頂いたことで、リハビリのスタッフも例年より多く参加し、リハビリテーションというテーマに基づいた異職種での活発な交流が見られた。

今後も、今回の総会の形式を継続しながら、委員会のあり方について検討していくこととする。